

## 第 50 回日本放射線技術学会秋季学術大会参加報告

柏葉脳神経外科病院 濱口 直子

皆様、初めまして。 柏葉脳神経外科病院 濱口 直子と申します。  
北海道の CT 業界を盛り上げようと、これまでアメリカ製の CT で頑張っただけでしたが、5 月より縁あってキヤノンユーザーとなり Prime SP を使わせていただいております。  
実は、この会発足当初からメルマガは購読させていただいておりましたが、今回正式に皆様のお仲間になった次第です。 キヤノン CT 初心者ですので、皆様と一緒に勉強させていただけたらと思います。 よろしくお願ひします。

10 月 7 日（金）～9 日（日）に東京両国にて開催されました第 50 回日本放射線技術学会秋季学術大会に参加させていただきましたので、ご報告させていただきます。

私は 10 月 7 日の午前中の飛行機で東京に移動しました。 札幌は気持ちの良い秋晴れだったのに、東京は土砂降りの雨、気温は 10 月としては 88 年ぶりの寒さ(12 月並みだったそう)で、札幌より全然寒いじゃん！てな感じでした。

学会会場近くには両国国技館がありまして、初日の夜はちゃんこ鍋をいただきました。



写真：ちゃんこ霧島のちゃんこ鍋と、会場近くの両国国技館

With コロナでの学会ということでしたので、ディスカッションの合間にマイク消毒係の方が出現し、質問者が席に戻るたびにマイクをシュッシュッとアルコール消毒していたのが印象的でした。参加者はコロナ前と比べてまだまだ少なく、機器展示も非常にささやかに見えました。

秋季大会は英語のスライドも必須では無く、春に比べて若い技師さんの発表が多かったように思います。今回私は頭部 CT セッションの座長をさせていただきましたが、ファントム実験よりも臨床画像についての演題が多く、ディスカッションも盛り上がったように思います。いまだに脳血管 CTA で安定した造影効果・画質を得るということに苦労している施設が多く、試行錯誤しているというのが印象的でした。

CT セッション全体を通して見ると、デュアルエネルギーをテーマにした演題もまだまだ盛り上がっていましたが、やはり Deep learning に関するテーマが多かったように思います。特に Deep learning reconstruction(DLR)は、まだ2社の CT にしか搭載されていないし、臨床画像の評価もまだまだこれからという感じなので、しばらく面白くなりそうです。

余談ですが、特別講演はあの戦場カメラマンの渡部 陽一さんでした。「こんにちは」が出てくるまでの溜めが非常に長くてドキドキしましたが、すっかり渡辺ワールドに引き込まれてしまいました。私もあの話し方、見習おうと思います。

コロナ前は、学会に参加疲れと言いましょうか、「また学会かー、行くの面倒だあ」みたいな気持ちも若干あったのですが、ハイブリット開催の学会が多くなり、現地参加の機会が減ってきた今は、直接話を聞いてディスカッションすることがやっぱり楽しい！としみじみ感じてしまいました。

春の JRC を楽しみにしたいと思います。